

【開催要旨】

第11回 木曽川上流水防災協議会(愛知ブロック)を開催し、「木曽川上流の減災に係る取組方針(令和3年度～令和7年度)」のフォローアップ等を行いました。各機関の令和6年度における取組結果のフォローアップ、木曽川上流水防災協議会における課題を踏まえた取組事例(犬山市、稲沢市、大口町、扶桑町、輪之内町※、木曽川上流河川事務所)、また令和7年4月に行われた輪之内町内福祉施設において実施された避難訓練の記録動画についても共有しました。

※輪之内町は岐阜ブロックの委員となりますが、要配慮者福祉施設の避難訓練の好事例として、木曽川上流河川事務所が代理にて説明しました。

- 日 時： 令和7年7月14日(月) 16:00～17:00
- 場 所： 豊田合成記念体育館 ENTRIO コンベンションホールB、C
- 出席者： 26機関(県、市町、気象台等 約30名)
- 議 事： 1)規約改定(案)
2)「木曽川上流の減災に係る取組方針」令和6年度のフォローアップについて
 - ①令和6年度の実績結果のフォローアップ
 - ②令和5年度 住民防災意識調査アンケート結果
 - ③木曽川上流水防災協議会における課題を踏まえた取組事例の紹介
 - ・木曽川上流河川事務所からの事例紹介
 - ・各市町における重要な取組の紹介



▲避難訓練の記録動画視聴の様子



▲協議会の様子



事務局の様子 ▶

木曽川上流河川事務所からの取組事例の紹介

【要配慮者福祉施設の避難訓練に関わる講習会の実施】

- ・ 令和7年2月5日(水)に輪之内町の浸水氾濫区域内にある要配慮者福祉施設において避難の実行性の向上に向け、施設タイムラインによる図上訓練による講習会を実施した。
- ・ これにより、施設全体での防災意識向上に寄与することができた。



▲講習会の様子

【防災意識向上に向けた広報活動の試行】

- ・ 防災意識向上に向けた広報活動の試行として、防災イベントに参加し、防災アニマル診断及び防災施設等認知度調査に関わるアンケートを実施した。
- ・ これにより、参加者の興味・関心を引くことができ、展示に入る前後でアンケートを行ったことで、イベント参加者の防災意識レベルが上がったことが確認できた。



▲広報活動の様子

【水防災教育の促進について】

- ・ 教育委員会と連携した、小・中学校への防災教育の幅広い推進による水防災意識のPhaseのワンランクアップを目的に、Webアンケートの実施及び「防災アニマル診断⇒マイ・タイムライン作成」の流れで災害・避難カードを活用した出前講座を実施した。
- ・ 出前講座の実績を踏まえ、防災教育ポータルサイトに改善した「災害・避難カード」を追加し、チラシの内容について更新した。



▲出前講座の様子

【排水活動支援ツールについて】

- ・ 実際の災害に、臨機応変に対応するための事前準備として「排水活動支援ツール」を構築した。
- ・ これにより、より発生頻度が高い降雨規模にも柔軟に対応できるようになった。



▲排水活動支援ツール

⇒次頁に市町の取組事例について記載

【市町の取組事例の紹介】

【犬山市】 各小中学校における防災倉庫等を利用した
体験学習の実施

- ・防災倉庫を活用した体験学習により防災意識の向上を図った。
- ・実際に学校に備わっている防災設備を見て体験し、学ぶことで、防災を身近に感じ防災意識向上や、自宅で備蓄することの重要性を理解してもらうことができた。



▲体験学習の様子

【稲沢市】 市内小中学校の防災教育事業への補助を実施

- ・子どものころから地域の災害リスク等を知り、命を守る行動(避難)を実践的に学ぶことによって「自助」の意識を醸成するとともに、保護者や教職員の防災意識の向上を図った。
- ・地域の現状の理解や家族への共有が進み、既存の避難訓練等にも工夫を施すなど、今後の派生にも繋がった。



▲防災講座の様子

【大口町】 地区内の防災設備を活用した訓練及び避難経路の
見直し検討の実施

- ・大口町内に広告付防災情報等電柱看板を設置することにより、町民に防災情報等を提供した。また、町民の安全・安心の促進に資することを目的に「広告付防災情報等電柱看板に関する協定」を締結した。
- ・令和6年度より一層の事業速度を促進する狙いとして、町独自の広告主募集の働きかけを実施中。(令和6年度は令和5年度より契約数が6件増加した)

▲広告付防災情報等
電柱看板

【扶桑町】防災リーダー・ボランティアコーディネーター養成講座

- ・地域で防災・減災・復興を推進する『防災リーダー』と『災害ボランティアコーディネーター』の養成講座及びHUG訓練を実施した。
(延べ27名が要請講座に参加)
- ・防災講話により防災の基礎知識を習得し、自助・共助の大切さを再認識いただいた。
- ・災害発生時には防災リーダーや災害ボランティアコーディネーターとして活躍いただき、地域防災力の向上に繋がる。



▲養成講座の様子

【輪之内町】 要配慮者福祉施設の避難訓練の実施※

- ・2月の講習会で施設タイムラインシートの作成等を実施した。講習会での経験を活かしながら実際に4月に避難訓練を実施した。
- ・タイムラインシートを活用することでより実情に沿った訓練内容となり、施設職員、入居者のさらなる防災意識の向上に繋がった。
- ・今回の取組を好事例として、他の町内福祉施設に周知し、避難訓練の充実を図る。



▲垂直避難の様子

※輪之内町は岐阜ブロックの委員であるが、要配慮者福祉施設の避難訓練の好事例として、木曽川上流河川事務所が代理にて説明。